

2020年4月1日

重慶市文史研究館 動物画展



好評をいただいています市民ギャラリーの今回の展示は重慶市文史研究館『動物画展』です。まるで、今にも動き出しそうな栗鼠・パンダなどの動物画を展示します。これらの作品は、繊細な色彩やダイナミックな構図、書法によりそれぞれの個性が光る名作で、重慶文史研究館を代表する作者によって描かれたものです。ぜひ、この機会にお楽しみください。

- 展示期間 2020年4月1日(水)～5月31日(日)
(アネックスパル法円坂休館日を除く)
- 会場 大阪市教育会館(アネックスパル法円坂)
1階 市民ギャラリー
- 開設時間 午前9時30分～午後5時
- 展示内容 重慶市文史研究館「動物画展」



入場無料

重慶市及び重慶文史館の概況

重慶市は中国の南西部、長江上流に位置し、湖北、湖南、貴州、四川、陝西などの省と隣接する。総面積は8万2400平方^キ、4番目の中央直轄市。人口は3020万人。漢民族を主とし、トゥチャ族、ミャオ族、回族、満州族など49の少数民族がある。日中戦争当時は、南京を失った国民政府(蒋介石政権)の陪都とされ、抗日戦争の「大後方」であった。昔から中国の西部地区の経済中心地として栄える大都会であり、現在は中国中央政府の制定した西部大開発の中心地である。

重慶文史研究館は毛沢東の提案により設置された徳望が高いアーティストや学者を集める組織。1951年、毛沢東の先生である符定一氏を初代館長とする中央文史研究館の設置に続き、1953年、重慶市文史研究館が設立された。正式館員になる資格としては文化及び歴史の分野で深い造詣を持つ60歳以上の学者とされ、市長から証書进行らう。

業務内容は主に三つ。

歴史の編修 《重慶市志略》、《辛亥革命50周年記念専巻》、《巴渝故実録》など

学術交流 《詩吟大会》、《重慶大爆撃座談会》、《杜甫研究》など

書画活動 書道、絵画、篆刻芸術等は文史館の重要業務

(上海市職工中心関西事務所)